

静岡市監査委員会議記録

会 議 令和6年度 第6回 監査委員定例協議会

開催日時 令和6年10月1日(火) 午前9時5分～午前10時30分

出席者 監査委員 遠藤 正方、白鳥三和子、寺澤 潤、稲葉 寛之
事務局長 萩原 健
書記 柴 秀和
山田 和誠、山田 裕 渡辺 篤史、蝦名 倫代
宇佐美亜希、神山 悟、谷 梓
青野 洋平、齋藤 升美

会議内容

1 開会宣言 柴次長

2 例月現金出納検査等(8月分)

(1) 説明者等

- ア 各種会計 宇佐美係長(監査第2係)
- イ 病院事業会計 山田次長補佐(監査第1係)
- ウ 簡易水道事業会計 山田次長補佐(監査第1係)
- エ 水道事業会計 青野係長(監査第3係)
- オ 下水道事業会計 宇佐美係長(監査第2係)
- カ 農業集落排水事業会計 青野係長(監査第3係)

(2) 発言等

ア 各種会計
特になし

イ 病院事業会計
(遠藤代表)

退職給付引当金は看護師1人分とのことであるが、補充はされているのか。

(事務局)

確認できている範囲で看護師の補充はない。なお、8月1日採用で産婦人科の医師が1人増えている。

(遠藤代表)

昨年度の看護師不足が病院経営に影響を及ぼしている状況がまだ続いているということか。

(事務局)

昨年度は看護師が大量に退職している中で、補充と退職が繰り返されており、状況は改善していないという印象である。

(白鳥委員)

建設仮勘定に860万円が計上されているが、これは何か。

(事務局)

手術室照明更新修繕業務である。

(白鳥委員)

業務はまだ途中なのか。

(事務局)

5月に契約を締結し、8月30日に支払を終えている。

(白鳥委員)

建設仮勘定から資産勘定への振替は来月の9月分で行われるのか。

(事務局)

決算整理で行われる予定である。

ウ 簡易水道事業会計

(寺澤委員)

支払利息とはどのような性質のものか。

(事務局)

企業債の借入に伴う利息である。

(寺澤委員)

未収金について、営業未収金や営業外未収金、その他未収金の費目があり、事業規模に対し多額であるように見えるが、いつもこのくらいなのか。

(事務局)

営業外未収金とその他未収金は一般会計からの補助金である。営業未収金は給水収益であり、通常、このくらいの金額が計上される。

エ 水道事業会計

(遠藤代表)

退職給付引当金の取崩しがあるが、退職者がいたのか。

(事務局)

技師と事務職員の2人が退職した。

(遠藤代表)

その分は欠員になっているということか。

(事務局)

そのとおりである。

(白鳥委員)

4ページの預金支出内訳書の人件費に記載されている人数は前月から変更がないが、2人の退職日はいつか。

(事務局)

1人は8月中に、もう1人は8月末日に退職している。預金支出内訳書の人数の内容については、確認して次回の協議会で回答する。

(白鳥委員)

原水費の補償金等とは何か。

(事務局)

主には興津川漁業権補償費であり、その他は、光熱水費や通信運搬費などである。

オ 下水道事業会計

(遠藤代表)

今回の災害支援費の内容は、能登半島地震の対応によるものという理解でよいか。

(事務局)

そのとおりである。令和6年能登半島地震対応に係る特殊勤務手当の支出である。

(稲葉委員)

災害支援費の財源は下水道事業会計の事業費の中で払うのか。

(事務局)

一時的には下水道事業会計において支払うが、最終的には災害支援を受ける側から補填される。

カ 農業集落排水事業会計

冒頭に青野係長から第5回監査委員定例協議会で監査委員から質問があった次のことについて説明があった。

- ・ 7月分例月現金出納検査調書の1ページ残高試算表の総係費に係る当月分の借方17,501,077円と、4ページ預金支出内訳書の総係費の支出額7,067,858円の差額は、7月に起票した総係費のうち未払金となっているものであること。
- ・ 農業集落排水事業会計及び簡易水道事業会計のソフトウェアに関する経理処理

(遠藤代表)

ソフトウェアの説明について、農業集落排水事業会計では資産計上している一方、簡易水道事業会計では水道事業会計の処理に倣い、資産計上はせず単年度で経費として処理したということによいか。

(事務局)

そのとおりである。

(遠藤代表)

水道事業会計は、ソフトウェアに関する経費が損益勘定に大きな影響を及ぼさなかったため単年度で経費として処理したとのことだが、簡易水道事業会計も同様の解釈で行っているということによいか。農業集落排水事業会計は、損益勘定に影響があるため資産にしたということによいか。

(事務局)

簡易水道事業会計については、水道事業と比べると、経費として処理するには金額としては少し大きいと思われるが、やり方として間違っているとまではいえないと考えている。改めて整理してみると、ソフトウェアとして資産計上しておいた方が、より適切であったのではないかと考えられる。

(遠藤代表)

基準としてのやり方が明確にされていないということで、農業集落排水事業会計と簡易水道事業会計で異なる処理をしているが、どちらも間違っているものではなく、農業集落

排水事業会計としては、これは妥当なやり方ということでしょうか。

(事務局)

そのように考えている。

3 協議会議事

(1) 協議事項

ア 協第24号 令和5年度井川財産区会計歳入歳出決算審査意見書について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

(遠藤代表)

年度をまたいでしまっているものの、使途としては結果的に財産区の運営の不足に充てられるため、目的に沿って使われていたという理解でしょうか。

(事務局)

そのとおりである。

(寺澤委員)

こういったことはよくあることなのか。

(事務局)

令和3年度に実施した令和2年度決算審査において一度あった。その際は、口頭で注意した。

(稲葉委員)

再び起こってしまった原因は何か。担当者が変わったのか。

(事務局)

担当者が変わっていること、使途に変わりがなければ翌年度に繰り越してもよいと誤認していたことなどが原因として考えられる。

(エ) 結果

各監査委員が復命内容を吟味した結果、当該意見書は品質管理方針に規定された達成すべき水準を満たしていることを確認した。

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

イ 協第25号 令和5年度両河内財産区会計歳入歳出決算審査意見書について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

(遠藤代表)

過去にも歳出総額を上回る基金の処理がされていたことはあるのか。

(事務局)

令和2年度実施の令和元年度決算審査の際にあった。

(寺澤委員)

両河内財産区の当該事務を行っているのはどこか。

(事務局)

管財課である。

(エ) 結果

各監査委員が復命内容を吟味した結果、当該意見書は品質管理方針に規定された達成すべき水準を満たしていることを確認した。

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

ウ 協第26号 令和6年度定期監査（財産区）実施計画の策定について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

(遠藤代表)

市における定期監査では、所管課は3年に1回監査の対象となるが、財産区における定期監査では、所管課は毎年対象となるという理解でよいか。

(事務局)

そのとおりである。

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

エ 協第27号 令和6年度行政監査（テーマ監査）実施計画の変更について

(ア) 説明者

山田次長補佐

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

特になし

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

(2) 報告事項

ア 報第9号 内部統制の不備に関する報告（令和6年8月分）について

(ア) 説明者

青野係長

(イ) 要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

特になし

(3) その他連絡事項

ア 令和6年度第2回臨時協議会議事録及び令和6年度第5回定例協議会議事録の公表につ

いて・・・・・・・・・・・・・・・・山田次長補佐が説明

イ 10月・11月の日程について・・・・・・・・柴次長が説明

4 閉会宣言 柴次長